

うるおい木曽



Vol. 102

2026・1月

水がささえる豊かな社会

独立行政法人水資源機構

発行：木曽川中下流用水総合管理所

〒495-0036

愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1

TEL 0587-97-3710(代表)

FAX 0587-97-1482

ホームページアドレス

<https://www.water.go.jp/chubu/kisogawa>

謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、旧年中は格別なご高配を賜り、木曽川中下流用水総合管理所を代表して厚く御礼申し上げます。

今年度から、木曽川用水施設である木曽川大堰、濃尾第二施設及び木曽川右岸施設と三重用水施設の管理を総合管理所で行うとともに、令和4年度より愛知県側の地盤沈下地域における支線水路及び揚水機場の老朽化対策を行う「濃尾第二施設改築事業」を実施しております。改築事業につきましては、令和18年度の工事完了に向け、皆様のご理解を得ながら着実な事業進捗に努めてまいります。

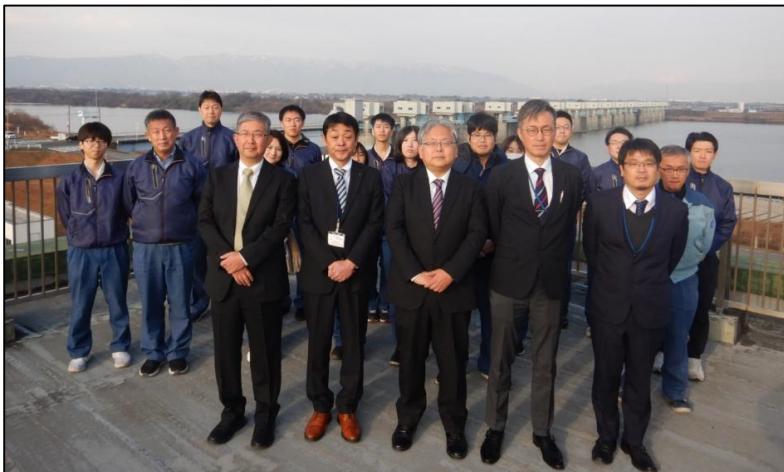
ところで、昨年1月に発生した下水道管の破損に伴う埼玉県八潮市での道路陥没事故では、公共の安全や社会経済活動に深刻な影響を与えたことはご記憶に新しいと思います。インフラ施設を管理する者として、施設の適切、適確な管理の必要性を改めて痛感したところです。総合管理所で管理している各施設では老朽化が進んでおり、その対策についても取り組んでおりますが、引き続き、関係者の皆様と調整し、皆様の協力を仰ぎながら最適な対応に務めてまいります。

さて、昨年の管理を振り返りますと、4月、7月は平年を下回る降水量であったものの、全般的には降雨に恵まれたこともあり、木曽川の流況は比較的良好に推移し、安定した取水、配水を行うことができました。

一方で、昨年の夏も記録的な猛暑となり、また、前線に伴う大雨の影響により各地で様々な被害が生じるなど、近年の気候変動の影響と思われる気象が続いております。

当機構としましては、近年の気候変動に伴う渇水や洪水リスク、更には地震時における対応を適確に実施し、適切な管理を通じて用水の安定供給と洪水被害の防止軽減に努めてまいります。

最後になりますが、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



木曽川中下流用水総合管理所
所長 津曲 孝一





力をあわせて米づくり～稲刈り編～

前回の記事はみなさま覚えていましたでしょうか？ 前回の記事の続編です。

10月15日、海部土地改良区さんにお声がけいただき、ご覧のとおり、黄金色に実った稻を刈りました。当日の工程は、「稲刈り」→「刈った稻を束にして藁で結ぶ」→「天日干し」です。稲刈りは、ひたすら刈っていきます。稻の根元に鎌をあて、どしどし刈っていました。刈った稻は3~5束くらいを束にして藁で結ぶのですが、これが慣れない作業なのでとても苦戦しました。天日干しは、「稻架掛け（はさがけ）」と呼ばれる手法で行いました。どの工程も美味しいお米になるための欠かせない作業です。釜でお米を炊きたい…！という気持ちで一同合致し、みんなで力を合わせてがんばりました。

後日談ですが、海部土地改良区さんから収穫したお米をご提供いただいたので、とある日、有志で念願の釜でお米を炊いてみました。炊き上がりはバツチリでした！カレーにしてペロリといただきました(^o^)みんなで食べるカレーはいくつになっても美味しいものです。



どしどし稲刈り中



藁で結ぶ作業に苦戦中



稲架掛け



後日談 美味しくいただきました

川と海のクリーン大作戦に参加し清掃を行いました！

川と海のクリーン大作戦については、美しい川や海を取り戻し、次の世代に引き継ぐために、川や海のゴミ対策について考えることを趣旨に中部地方の各地で実施されています。

当管理所の所在する稻沢市でも毎年実施しており、近隣の木曽川上流左岸側の河川敷にある公園（サリオパーク祖父江周辺）にて、10月12日に行われました。

地元の事業者をはじめ関係団体等から多数の参加者があり、職員6名が参加し、ゴミ拾いの清掃活動を行いました。ゴミは非常に少なく、地元の皆様の川を綺麗にする意識が根付いているのだと感じました。



清掃活動後



清掃の様子



木曾川堤防清掃と総合管理所体験学習会を開催！

総合管理所と近傍の稲沢市立長岡小学校は、環境教育の一環で2回に分けて木曾川河川堤防の清掃活動と4年生を対象とした総合管理所体験学習会を毎年実施しています。

6月13日は1・6年生、11月19日は2・5年生が参加し、木曾川河川堤防のゴミ拾いを行いました。当管理所は、児童が怪我や事故に巻き込まれないようにこの活動のサポートを行いました。

11月21日には4年生18名の児童が当管理所を訪れ体験学習会を行いました。

まず、全員で「水クイズ」を行い、水の大切さ、水に関する知識を学びました。その後、操作室での説明、屋上からの施設見学、実際に水を流しての水路模型実験を行い、木曾川用水の仕組みと施設の重要性・必要性などを学びました。

児童たちは、職員の説明を真剣に聞いて様々な質問をし、操作室では監視カメラやドローンに興味を示すなど、楽しく学ぶことが出来たと思います。

地元小学校との連携を深めて、地域貢献と木曾川用水のアピールに努めています。



清掃の様子



屋上からの施設見学

第44回 八百津町産業文化祭に出展しました！！

11月8～9日に開催された第44回八百津町産業文化祭に出展しました。

出展は、愛知用水上流管理所と木曾川中下流用水美濃加茂管理所が合同で、事業説明パネルの展示やコースター作りを行いました。

1日目は天気が良かったこともあり人出が多く、当機構のブースにもたくさんの来客がありました。

コースター作りでは、小さな子供達に人気でいろいろな絵を描いて喜んでいました。子供の親からは、「小さな子供が楽しめるブースはありがたい。」との感想をいただきました。

また、事業説明パネルを見て質問される方もおられ、「木曾川の八百津町地点から用水を取水し、知多半島の先端まで自然に流れています。」、「飛驒川から取水された水が、農業用水や水道用水として八百津町にも供給されています。」などの説明を行いました。



開会式の様子



コースター作りの様子



木曽川右岸用水土地改良区役員の視察研修

12月8日に八百津町役員、12月19日に川辺町役員の視察研修が行われました。

八百津町役員研修には理事長などが参加し、美濃加茂管理所や白川取水口などを視察しました。

管理所の操作室では、管理概要や取水配水の監視や操作について説明を行い、その後、白川取水口や神渕沈砂池、飛驒川水管橋、上飯田調整池の現場視察をされました。

農業用水の最大取水量や取水総量に関し、「近年の高温障害対策として水の掛け流し対応として増量することは出来ないか。」との質問があり、用水の重要性を理解して頂けたと思います。



白川取水口視察の様子



神渕沈砂池視察の様子

川辺町役員研修には理事長などが参加し、岩屋ダムや美濃加茂管理所を視察しました。

木曽川右岸用水の水源である岩屋ダムにおいて、ダム施設の目的や施設概要をはじめ、操作室では日々の監視や施設操作など、洪水吐ゲート室ではゲートの大きさ・巻き上げ機の構造など、堤体内にある利水バルブ室ではバルブの大きさ・開閉装置の構造などの説明を受けました。

管理所操作室では、管理概要や取水配水の監視や操作について説明を行いました。

参加された役員からは、「水源から圃場までの水の流れが勉強出来、良い視察だった。」との言葉を頂きました。



岩屋ダムの利水バルブ室視察の様子



美濃加茂管理所操作室視察の様子

お知らせ

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキや当管理所ホームページ「お問合せ・ご意見」からどしどしお寄せ下さい。

また、施設見学をしてみませんか。事業の説明にも伺います。希望される方はお気軽に連絡して下さい。